

## 平成 24 年度 卒業前動向調査の集計結果概要

札幌市立大学看護学部生および助産学専攻科生対象

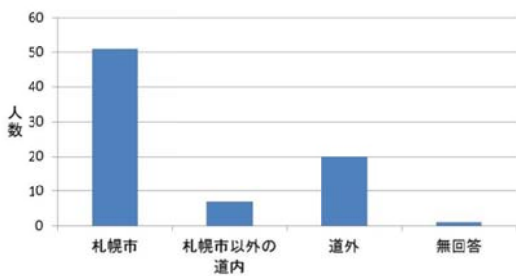
### 【はじめに】

卒業前動向調査は、主に最終学年の就業活動に関する動向を調査いたしました。本調査の目的は、卒業生から看護職キャリア形成に関する情報を提供することで在学生在が就職活動に活用することです。平成 24（2012）年度看護学部および助産学専攻科生にご協力いただいた調査結果の概要を報告いたします。

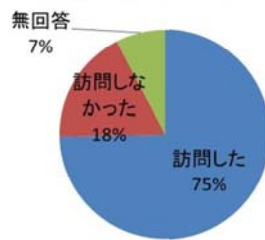
### 【結果概要】

卒業前動向調査は、平成 25 年 3 月に札幌市立大学看護学部 4 年生および助産学専攻科生計 100 名へ質問紙調査を配布し、80 名（回収率 80%）の学生から回答をお寄せいただきました。

就職・進学先の所在地 n=78



就職活動中の施設訪問実施の有無 n=76

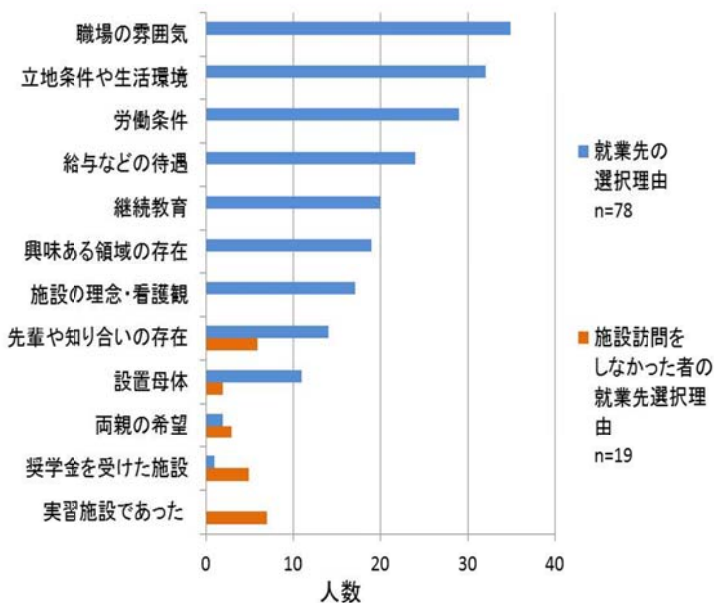


施設訪問をした者の施設訪問数 n=60



平均 3.4施設を訪問

### 就業先の選択理由



就職先の所在地は札幌市が最も多く、次いで道外、札幌市以外の道内の順でした。就職前に75%の学生が施設訪問を行っており、18%が施設訪問を行っていませんでした。施設訪問をした学生のうち、5施設以上の訪問をした者が30%、施設訪問数の平均は3.4施設でした。学生は、「職場の雰囲気や立地条件」、「職場の労働条件」を重視して就業先を決定していました。また、施設訪問を行わなかった学生は、「実習施設であった」ことや、希望施設に就職している「先輩や知り合いの存在」を理由に、就業先を決定していました。

### 【おわりに】

この度は、平成 24 年度看護学部および助産学専攻科卒業生のご協力により、就職活動に関する情報を公開することができました。これらの情報は在学生の就職活動に大変有用な資料となります。今後も有用な情報を提供できるよう、継続的に動向調査を実施し、結果を公開していきます。